

大沼正則教授退任記念号の発刊に寄せて

1996年3月をもちまして本学を定年退職されました大沼正則教授は、およそ三十年間にわたり、本学の学生の指導に当られました。多年の御尽力と御苦勞に対しまして、心から御礼を申し上げます。

先生は1925年、東京都にお生まれになり、都立六中、都立高校、東京工業大学、同大学科学史技術史研究科へと進まれました。学業終了後、中教出版および光村図書に一時勤務されたのち、55年から牛込第三中学校と都立両国高校の非常勤講師として教壇に立たれました。本学には58年、講師として着任され、61年に助教授に、66年に教授に昇任されておられます。本学での担当科目は化学および自然科学概論でした。この間、先生は学生委員、入試委員、推薦入学委員、入試問題検討小委員、図書委員を歴任されました。

先生の御専門の研究分野は、化学を中心とした近代科学の成立・発達史であります。西洋のみならず日本の科学史をも視野に収め、そこに哲学的・社会的考察を加えた、スケールの大きい御研究を残されました。原子力政策など、日本の科学技術政策にも重大な関心を払われ、数々の貴重な提言を行われております。御専門の学術研究誌に多数の論文を発表されるとともに、科学史技術史に関する著書、訳書を刊行され、そのリストは長大です。

先生の御定年退職が実に惜まれます。今後とも御研究を継続され、いつまでも御健勝であられますよう、切に祈念申し上げる次第です。

1997年1月

全学共通教育センター長

長谷川輝夫

大沼正則教授年譜並びに主要著作

略 歴

- 1925年12月15日生（東京都出身）
- 1938年 4 月 都立六中入学
- 1943年 3 月 同校卒業
- 1944年 4 月 都立高校理甲入学
- 1947年 3 月 同校卒業
- 1947年 4 月 東京工業大学入学
- 1950年 3 月 同校（化学）卒業
- 1950年 4 月 東京工業大学科学史技術史研究室研究科学生
- 1952年 3 月 同大学院修了
- 1952年10月 中教出版（科学史体系），光村図書嘱託
- 1955年11月 牛込第三中学非常勤講師
- 1957年 4 月 都立両国高校非常勤講師
- 1958年 4 月 東京経済大学講師
- 1961年 4 月 同大学助教授
- 1962年 5 月（1964年 3 月まで） 同大学経済学部第二部学生主任
- 1966年 4 月 同大学教授
- 1975年 4 月（1977年 3 月まで） 同大学学生委員
- 1979年 4 月（1981年 3 月まで） 同大学入試委員
- 1980年 9 月（1980年11月まで） 同大学推薦入学委員
- 1981年10月（1982年 3 月まで） 同大学入試問題検討小委員
- 1983年 4 月（1985年 3 月まで） 同大学図書委員
- 1996年 3 月 同大学を定年退職
- 1996年 5 月 同大学名誉教授

主 要 著 作

論 文

- 1954年4月 「化学入門」をめぐる(上) 『科学史研究』第28号
- 1954年7月 「化学入門」をめぐる(下) 『科学史研究』第30号
- 1956年5月 科学論・技術論 『自然』121号
- 1958年10月 化学概論と化学史 『東京経学会誌』21号
- 1959年2月 近代化学における定量的方法の確立 『科学史研究』第49号
- 1959年4月 近代化学における力と物質との連関について 『東京経学会誌』23号
- 1960年1月 有機化学構造論の基礎—ケクレの諸論文を中心に— 『東京経学会誌』26号
- 1962年10月 「懐疑的化学者」ロバート・ボイル 『東京経済大学人文自然科学論集』秋号
- 1963年1月 「懐疑的化学者」成立事情 『東京経済大学人文自然科学論集』春号
- 1965年12月 ロバート・ボイル「形相と質の起源」と粒子哲学 『東京経済大学創立65周年記念論文集』
- 1968年2月 日本物理化学史(1) 『東京経済大学人文自然科学論集』No.18
- 1968年5月 日本物理化学史(2) 『東京経済大学人文自然科学論集』No.19
- 1972年8月 1920年代ソ連哲学論争の今日における意義 『東京経済大学人文自然科学論集』No.31
- 1972年9月 化学は物理学に喰われるか?—ルイスの原子価理論を例として— 『化学』第27巻9号
- 1972年12月~1973年1月 原子の実在性をめぐる19世紀の化学者たち(1)~(5) 『東京大学新聞』1972.12.18~1973.2.5
- 1973年 日本マルクス主義科学論の伝統 『現代と思想』12号
- 1974年 反科学主義のゆくえ 『日本の科学者』76号
- 1974年 日本におけるマルクス主義科学史の成立 『科学と思想』14号
- 1974年 化学結合論における物理的方法と化学的方法 『科学史研究』1号
- 1975年6月 最近におけるボイル評価をめぐる 『東京大学新聞』1975.6.2
- 1976年1月 小倉金之助の思想と数学史 『思想』(1976年1月号)
- 1978年10月 反科学主義、この十年の特徴 『科学と思想』34号
- 1981年11月~1982年4月 近代科学とその成立—論争史ノート 『学生新聞』1981.11.7~1982.4.8
- 1983年3月 「技術立国論」の技術論的考察 『日本の科学者』Vo.18.No.3

- 1983年12月 史的唯物論の基礎概念と自然科学 『東京経大会誌』 134号
- 1984年11月～1985年 3月 自然科学と社会進歩 『月刊学習』 No.289～93
- 1987年11月 情報技術の発展とイデオロギー攻勢 『日本の科学者』 Vol.22.No.11
- 1988年 1月 反科学論としてのニューサイエンス—そのねらいと役割— 『科学と思想』 67号
- 1989年 5月 道具・機械・オートメーションをめぐる技術論上の問題—「動力・制御」論のゆくえ— 日本科学者会議／科学技術政策問題委員会
- 1990年 4月 「科学技術革命」論再考—現代科学論の一課題— 『日本の科学者』 Vol.25.No.4
- 1991年 4月 変革の科学か、知のゲームか 『科学と思想』 80号
- 1994年 1月 近代科学と今後の課題 『SUT Bulletin』 115号
- 1995年 自然科学史の方法 『科学史研究』 1995春
- 1995年11月 エンゲルスの自然科学研究（上） 『前衛』 No.666
- 1995年12月 エンゲルスの自然科学研究（下） 『前衛』 No.667

論説等

- 1952年 8月 「唯物論者」の原爆擁護説—武谷技術論を批判する— 『潮』 1952年 8月号
- 1974年 7月 反科学主義の一形態—広重徹『科学の社会史』— 『科学と思想』 No.13
- 1976年10月 「聖俗革命」と反科学論—村上陽一郎著『近代科学と聖俗革命』について— 『学生新聞』 1976.10.20
- 1977年11月 歴史に逆行する「知の地平」—柴谷篤弘『あなたにとって科学とは何か』批判— 『学生新聞』 1977.11.9
- 1978年11月 反科学論の果す役割 『緑の旗』 1978.11.10
- 1979年11月 自然科学史とパラダイム論 『学生新聞』 1979.11.7
- 1980年 2月 近代科学をどうみるか—バターフィールド「科学革命論」と科学史の方法— 『学生新聞』 1980.2.6
- 1980年 3月 バターフィールド「科学革命論」について—戦後・日本の科学史方法論の一断面— 『サジアトール』 No.9
- 1980年11月 歴史のなかの科学と技術（その1） 『技術教育』 11月号
- 1980年12月 歴史のなかの科学と技術（その2） 『技術教育』 12月号
- 1980年12月 反科学主義の危険な形態—『科学技術の史的展開』批判— 『学生新聞』 1980.12.10.17
- 1982年10月 『日本資本主義発達史講座』と技術史研究—『日本資本主義分析』の与えた衝撃と課題— 『学生新聞』 1982.10.9

大沼正則教授年譜並びに主要著作

- 1983年 8月 新訳『資本論』第三分冊と技術史研究 『科学とヒューマニズム』第4号
1984年 1月 からまわりする「科学論」—広松渉「科学論の今日的課題と構想」批判—
『学生新聞』1984.1.28
1984年11月 マルクス・エンゲルスと自然科学 『婦人通信』No.300
1988年 1月 座談会 科学の啓蒙 『日本の科学者』Vol.23.No.1
1992年 4月 スターリン時代のソ連科学のゆがみ 化学分野の共鳴論争をふりかえる
『前衛』No.618
1995年11月 エンゲルスと私 『日本の科学者』Vol.30.No.11

著 書

- 1950年11月 自然科学入門 共著 東峰書房
1954年 5月 近代化学史（電子的原子価論の成立） 中教出版
1956年10月 上級化学小事典 共著 福音館
1957年 3月 自然科学と技術の歴史 共著 日本教育大学協会
1957年12月 やさしい科学の歴史 医学の発展 共著 筑摩書房
1963年10月 化学の考え方（テキスト『化学の原理』） 共著 学生社
1962年12月 道を開いた人々 発明発見ものがたり 共著 筑摩書房
この頃 自然科学思想史概論（テキスト） 広文社
1964年 7月 発明発見物語全集 第7巻 酸素ガスからナイロンまで 編著 国土社
1964年 8月 発明発見物語全集 第8巻 鉄からプラスチックまで 編著 国土社
1967年 1月 玉川大学児童百科 第5巻 宇宙・科学史 共著 玉川大出版
1967年 8月 現代自然科学入門（科学の制度化） 有斐閣
1968年 4月 20世紀科学の源流（2章 親和力との決別） NHKブックス
1970年12月 大学・科学～大学民主化へのアプローチ（技術と科学技術者の責務） 全学
連
1971年11月 化学のすすめ（I 化学・その歴史と理論） 筑摩書房
1973年 1月 現代社会と人間（第6章 現代技術と人間） 学陽書房
1973年 1月 中村清治編 現代技術論（第11章 科学と労働・産業）有斐閣
1973年 7月 失敗の科学史（4章 物が燃えるのは、どうしてか？）NHK出版
1974年11月 日本のマルクス主義科学論 大月書店
1975年10月 戦後日本科学者運動史（上） 共著 青木書店
1975年11月 戦後日本科学者運動史（下） 共著 青木書店
1976年 4月 現代人の科学 第12巻（反科学主義批判—その人間主義的・実践主義的形態
について—）

- 1978年4月 自然科学の古典をたずねて（上） 分担執筆 新日本出版社
 1978年6月 自然科学の古典をたずねて（下） 分担執筆 新日本出版社
 1978年6月 科学技術史概論 共著 オーム社
 1978年9月 科学の歴史 青木書店
 1980年11月 現代社会と科学者 共著 大月書店
 1986年12月 科学史を考える 大月書店
 1987年12月 科学史 その課題と方法 編著 青木書店
 1990年9月 現代哲学概論（相対主義的科学論） 青木書店
 1995年2月 技術と労働 岩波書店
 1995年6月 科学者の権利と地位（第3部第13章 学術団体の平和声明） 水曜社

訳 書

- 1960年5月 T.L. Heath ギリシア数学史（上）（下） 共訳 共立出版
 1963年11月 R.Boyle著 Sceptical Chymist（世界大思想全集） 河出書房新社
 1962年12月 シンガー他 技術の歴史 第1巻 共訳 筑摩書房
 1963年7月 シンガー他 技術の歴史 第6巻 共訳 筑摩書房
 1966年3月 図説 物理の歴史 共訳 恒文社
 1966年6月 図説 医学の歴史 共訳 恒文社
 1981年6月 レスター 化学と人間の歴史 監訳 朝倉書店
 1988年2月 ウィークス／レスター 元素発見の歴史 全3巻 監訳 朝倉書店
 1996年6月 ホームヤード 錬金術の歴史－近代化学の起源 監訳 朝倉書房